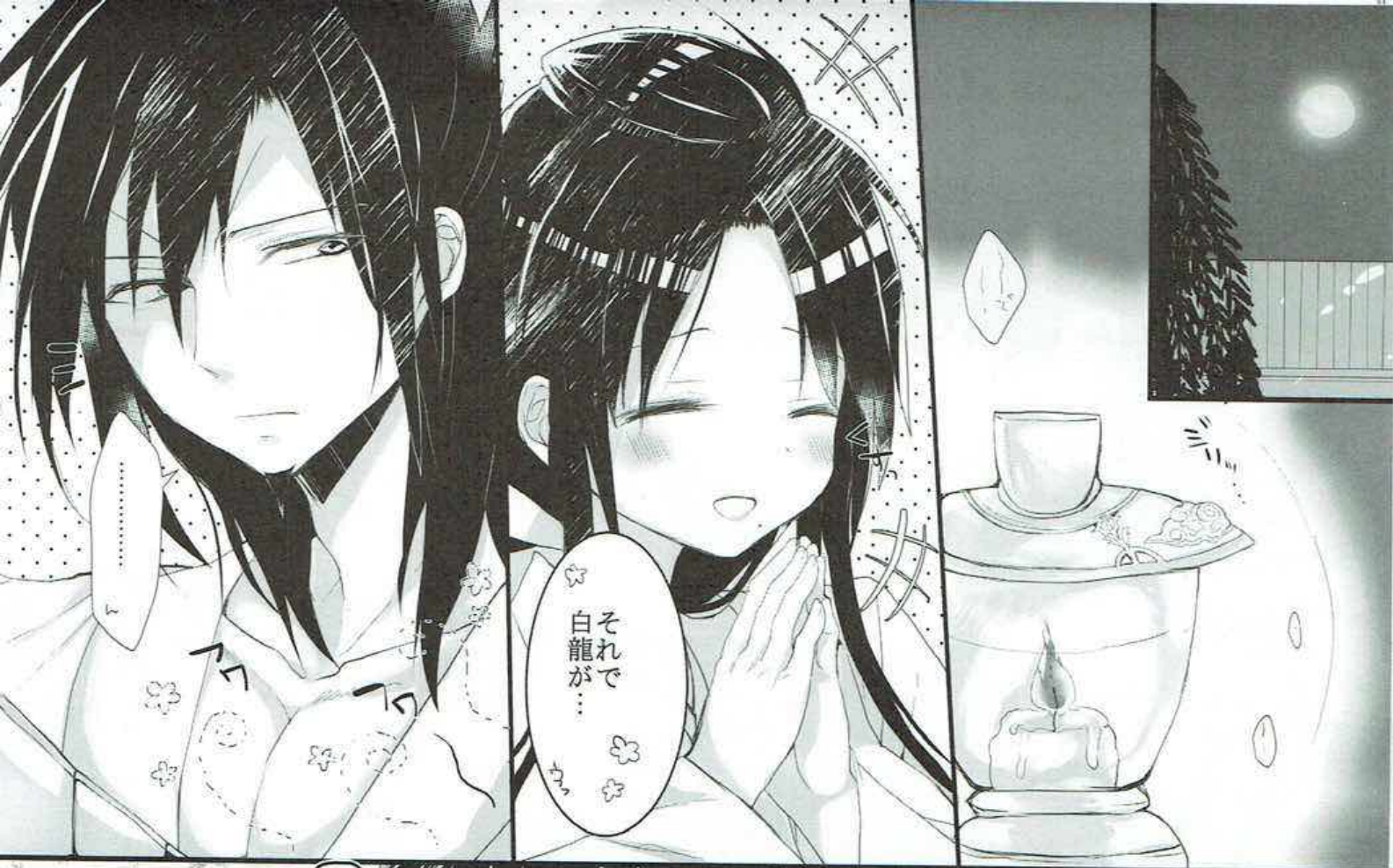


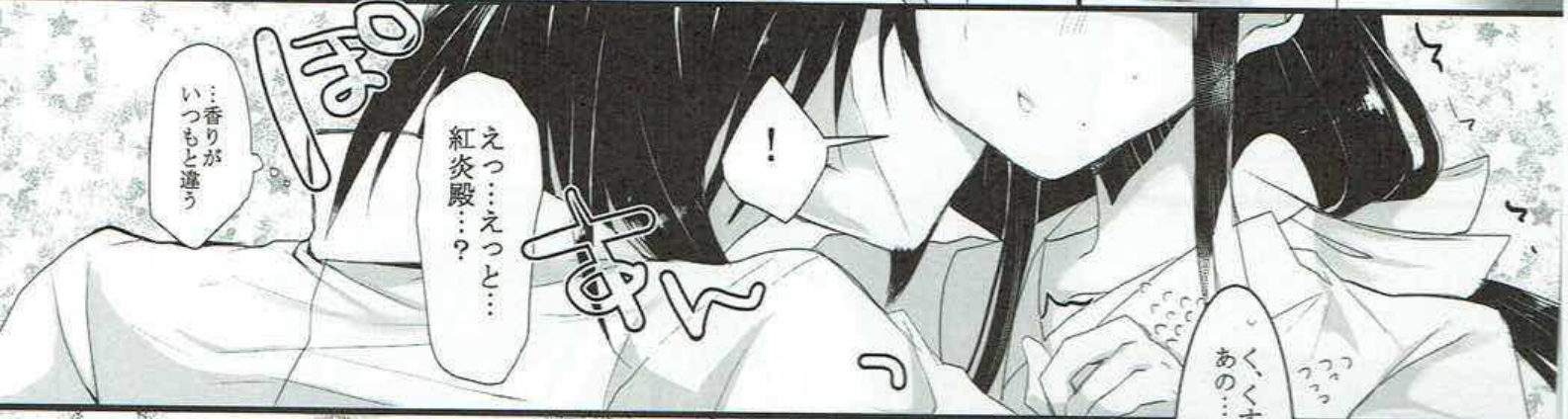
R♥18
for ADULT ONLY



奥様は第1皇女



それで
白龍が...



...香りが
いつもと違う

えっ...えっと...
紅炎殿...?

く、くすぐったいです...
あの...?



毎晩のように
共に居れば
嫌でもわかるだろ

...香を変えたのか
いつもお前から漂う匂いが
今宵はない

あ、
お気づきに
なられましたか?

...ふふ
確かに
そうですね

紅炎殿



私

こうして…
妻としてあなたの
お傍に居られること

共に過ごせることが…
とても嬉しいです

…そうか

はい



きやっ

紅炎殿…?
あの…

…そんなに
嬉しいというのなら

しっかり俺の妻としての
務めを
全うしてもらおうか

あ…

頼るようなことを
いつている自覚なんて
ないのだからな…



触れられるのが嫌だなんて
そんなのありえないって...
紅炎殿が一番わかかってらっしゃる
でしょうに...

...白瑛

.....



でも...それが...
そういうことができるのが...
紅炎殿の求める
妻の理想像なら...っ

...そうか
ならお前の望み通りに
してやろう

紅炎殿...っ♡

お願いします...♡



紅炎殿の
太い指が...
私の...っ♡

やらしい動き
してっ♡

私の身体に...♡
いっぱいからしいことして

気持ちいい♡
くたせ♡...♡

お前はこを
こねまわされるのが
好きなんだよな



娘... 親父...
... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 親父...
... 娘...
... 親父...
... 娘...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...



... 親父...
... 娘...
... 親父...
... 娘...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

... 娘...
... 親父...
... 娘...
... 親父...

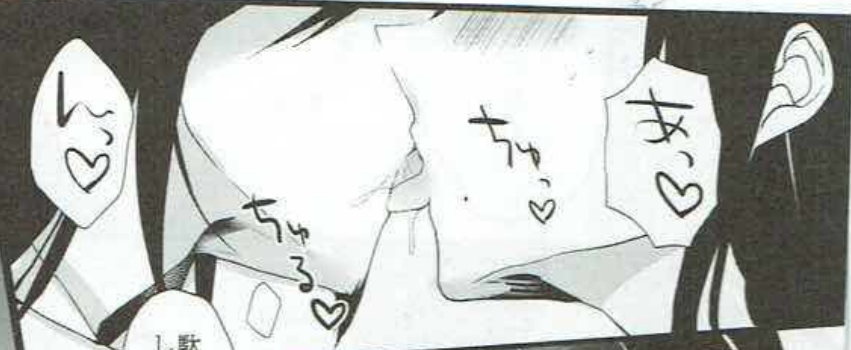


接吻をする方が
俺は好きだ

…それよりも



このままじゃ
いけない！



駄目…っ♡また紅炎殿に
してもらえばっかりで…っ



この…
紅炎殿っ

あの
私



紅炎殿…っ♡

このままじゃ…っ

また…っ私だけ…
気持ちよくなっ
てしまっ…っ♡

はま…っ♡



お、白……

お、お……

接吻しながら……♡
エッ、干なごもでせませよ……♡

紅炎殿の体……♡
紅炎殿の胸……♡
紅炎殿の尻……♡

だからっ……♡

今日は私が紅炎殿の上に乗っても……♡
いいですよ……♡♡♡

恥かしいけれど……
ちゃんと騎乗を
果たさなければ……！



紅炎殿のため……♡

私にできることなら……
喜んで……♡
してあげたい……♡

紅炎殿っ……♡

お、お……♡
お、お……♡
お、お……♡

お、お……♡

くっ……！
白瑛……♡

お、お……♡

…大丈夫か…お前
こういうのはまだ
馴れてないだろ…

そんな性急に
せずとも

紅炎殿

駄目なんです…
ちゃんと…できないと…

私…

私…
紅炎殿をお慕いしている気持ちなら
誰にも負けません…!!

でせう…

それだけでは…
口ばかりでは駄目だから…

ちゃんと…
皇子の貴方に愛していただける…
相応しい妻にならないと…っ

お前…

アハハ...♡♡

白瑛

大丈夫だ

そんなま...っ♡
下から突いちやだめです...♡♡

...お前が気に病むようなことは
何もない
今だってちゃんと俺は
気持ちがいいぞ

わたひがっ...♡
ちゃんと自分ネ...♡

お前の膺は
一度ちんぽを啜えると、締め付けて
離してくれなくなるからな？

...いきなり何を言い出したかと思えば
...誰か、何処かの愚図にでも
余計なことを吹き込まれたか

そんなっ...♡
わたし...っ!

ただっ...本当に...
私...♡♡

...なんだ？
何を恥ずかしがる
ことがある

力不足...っ
だから...っ

あーあーあー

お前は身体で俺を喜ばせたかったのだからそれができているのだから素直に喜べばいい

それともお前自身が快感を味わえないから不服なのか？
お前の濡れた膣を突いているだけで俺は堪らなくなるが...

あ.....♡

こーんてんてん...♡
わたしっ...♡

私も...♡
紅炎殿のおすらん様で突かれるの気持ちいいです...♡

そんなに俺の子種が欲しいのか？
突くたびに子宮口ヒクつかせてっいやらしい皇女だな...♡

あーあーあー♡

あーあーあー...♡
あーあーあー...♡

私のおまんこに...♡
紅炎殿の子種っ...♡
全部注いでほしいです...♡

おねがいします...♡



ああ...
ちゃんどっ
種付けしてやるから...

おたひっ
おたひっ
おたひっ

おたが...
おたがいて下々ったう...
何もいらない...

おま
おま
おま

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

白瑛
射精すぞ...

中で全部
受け止める...!



あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...



つきやあ!

ふあ…え…?
こーえんどの…?

先ほど

…俺の子種が欲しいと
いったらろう

…お前の望み通り

枯れ果てるまで
全部くれてやる

え…?

んっ!



白瑛…
もつとっ…はま…

お前の乱れる姿が見たい…っ

だめっ…
イったばかりで敏感に
なってるのにつ…!!

何れも…
…

頭もみま…
おかひく
あつひま…



ふまふまっ♡

わらひまたっ♡
イっちやうっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

ふまふまっ♡

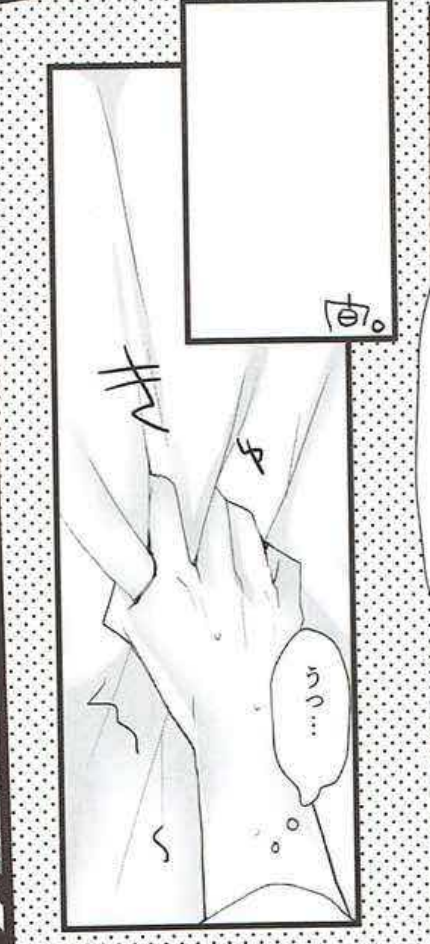


ままたなんだか...
流されるままに
恥かしいことを
してしまいました...

沢山触れ合えたり...
気持ちを確認しあえたのは
良かった...けれども...

...白瑛

ま...



うっ...

ま

紅炎殿...私...♡
今宵はちゃんと...♡
あなたの妻としてのお役目...
果たせてましたか...?



すみません紅炎殿…私…
あなたの妻だというのに…

あんな…
はしたないこといってば…

……お前の言う俺の妻というものが
具体的にどういうことを指しているのか
良く解らんが



あ……



……えっと……？
紅炎殿……？これは

……先日造らせたんだ
お前のために

……古代の異国についての文献を読んでいたら
……そこでは夫が妻に
……婚礼の際に指輪を贈る風習が
……あったと記されていてだな……

……よくよく考えてみれば
俺はお前に夫らしいことをな
何一つしていないと思っとな

だからその……なんだ

……それはくれてやるから
……受け取れ

えっ！

良いのですか？
こんな高価そうなもの…

…くれてやるといった
のだから構わんよ
それに、お前以外に
渡したい者もない

…紅炎殿……

…お前がいろいろと
気にする気持ちも
わからんでもない

だが白瑛

……あ……

二人でいるときくらいは…
普段の肩書など気にせず…
夫婦でいれればいいと俺は思うんだが

俺は一人の人間として
お前を好んでいるし、
…お前もそうだろう？

ならその気持ちだけで
後は気にせんでいいだろう

…はい…

そう、ですね……
私もそれが……いいです

ん

えっ!? いえっ!
そんなの駄目です!

何があっても
絶対手放しません…!

はい…

…ありがとうございます

紅炎殿…

…そうか

あとそいつは
気に喰わなかったら別に
売らなれり捨てるなりして
構わんからな



練紅炎 ♥ 練白瑛

The labyrinth of magic M/IGI
FanBook

2015 ♥ 01 ♥ 25
SARDONYX
presents ♥

Okusamahadaïchikoujyo... ♥

FOR ADULT ONLY